

温室効果ガス削減計画書

広島県知事様

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名
提出者 広島県安芸高田市吉田町吉田1489-23
西川ゴム工業株式会社 吉田工場
工場長 板崎 隆

広島県生活環境の保全等に関する条例第100条第1項の規定により、減計画書について、次のとおり提出します。

事業所の名称	西川ゴム工業株式会社 吉田工場				
事業所の所在地	広島県安芸高田市吉田町吉田1489-23				
計画の内容	別紙のとおり				
連絡先	担当部署 技術課 設備 担当者氏名 杉原 康生 電話番号(0826)42-3711 (e-mail s-sugihara@nishikawa-rbr.co.jp)				
※受理年月日	年	月	日	※整理番号	
※備考					

- 注 1 計画の内容については、別紙によることとして、規則第74条第1項に掲げる事項及び対象期間について記載するものであること。
2 ※の欄には、記載しないこと。
3 用紙の大きさは、日本工業規格A列4とすること。

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

西川ゴム工業株式会社 吉田工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸高田市吉田町吉田1489-23

(3) 業種

工業用ゴム製品製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和元年度を基準年度とし、令和2年度から令和4年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

<基本理念>

当社は、環境保護を経営の重要課題として位置づけ、開発・設計・購買・生産・物流・販売・廃棄までの製品のライフサイクル全段階にわたって、社是(正道、和、独創、安全)の精神で「地球にやさしい事業活動」をグループ全体で取り組みます。

<行動指針>

1. 法令遵守

環境関連の関係法規制等、及び当社が合意するその他の要求事項を遵守します。

2. 環境に配慮したモノづくり

省エネルギー・省資源・リサイクル・廃棄物の削減、環境負荷物質(有害化学物質)の使用抑制及び汚染の予防に取り組み、その継続的改善による環境保護に努めます。

3. 社内啓発活動

全従業員の環境に関する法律遵守及び環境への意識向上を図るため、環境教育を継続的に実施し、全社的な環境保護活動を推進します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和元年度	令和元年度
二酸化炭素	7,285	7,285

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)	
	排出量 (a)		削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO2						0
非エネルギー起源CO2						0
メタン						0
一酸化二窒素						0
その他 温室効果ガス						0
温室効果ガス 実排出量総計						0
温室効果ガス みなし排出量			-			0
目標設定の考え方						

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **投入量千t**

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和元年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和4年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	7,285	8.9	822.42	3.0	7,282	9.1	797.94
非エネルギー起源CO2							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	3,275	0.2	-	-	3,270

目標設定の考え方	エネルギー起源CO2は原単位ベース年1%の削減率.
----------	---------------------------

※ 削減率(d) = $\{(c) - (g)\} / (c) \times 100$ 原単位(c) = (a)/(b) 原単位見込(g) = (e)/(f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気の原単位0.8%	<ul style="list-style-type: none"> ・LED照明への置換 ・チラーユニットをインバータータイプへ更新 ・排気ファンインバーター化 ・油圧ポンプインバーター化
2	燃料使用量の削減	LPGの原単位0.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・加熱炉への遮熱シート貼り付けによるエネルギーロス削減
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

別紙EMS体制図

(2) 実施状況の点検・評価

環境責任者、環境管理推進者及び事務局を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検及び問題点の検討を行う。また、定期的に評価・見直し等を行い、継続的改善を図る。

(3) 計画書等の公表

事業所に備えつけて閲覧する。

